

いろは子ども文化賞の創設(2002.4.1創設)

1 創設の主旨

平成14年度は、学校週5日制の完全実施・新学習指導要領全面実施などの学校教育変革の年であり、志木市においても、25人程度学級の実施・ホームスタディ制度の導入など、本市教育改革の期でもある。

志木の子どもたちに、「ふるさとを愛し、見つめ、大切に作る心」を養い「感性豊かで、表現力をつけ、創造力を育む」ために、特に子どもたちの文化活動に対して市民ぐるみで学習支援することを目的として、「志木市いろは子ども文化賞」を平成14年4月に創設した。

2 各部門設置の理由

本市の一連の「きめ細かく・柔軟な教育施策の展開」と「やさしく・たくましく、自己主張の出来る子に」との育成方針に基づき、本事業を学校教育への奨励支援活動として位置づけ、新設するものである。

- (1) 文学賞を創設することによって、児童・生徒が様々な文学に触れる機会を拡大するとともに、読書離れを市民ぐるみで防ぐことを目的とする。
- (2) 科学賞の創設を機に児童・生徒が、理科や工作に親しみ、科学展出品作品を制作することによって、一層の科学的視野と創造性を育むことを目的とする。
- (3) 絵画賞を創設し、ふるさと志木を自己の表現力で、目で、街の移り変わりを描くことによって、郷土愛と情操豊かな心を養うことを目的とする。
- (4) 番組制作賞を創設することによって、児童・生徒の企画力や発想を大切に、取材を通して人と自然や街の風景に触れ、豊かな人間性を育成することを目的とする。

3 本事業の特色

- ・学校教育の情操育成に市民あげて応援する。
- ・学校授業の延長での作品を募集する。
- ・市内在住の全ての子供が対象である。
- ・市民関連事業団体との連携(共催)の確立を目指す。
- ・絵画作品等を商店街「店先(みせさき)美術館」として展示する。
- ・審査も公募で市民の手に委ねる。